

評価 A (4.0~3.2) B (3.1~2.4) C (2.3~1.6) D (1.5~1.0)

番号	重点努力目標等	教職員用	平均	評価	④(あてはまる)	⑤(ある程度あてはまる)	⑥(あまりあてはまらない)	⑦(あてはまらない)	④+⑤	率
1	F開かれた学校づくり	学校の教育方針や目標、経営方針を周知している	3.4	A	39 41.1%	52 54.7%	4 4.2%	0 0.0%	91	95.8%
2	F開かれた学校づくり	学校・学科の特色や教育活動を積極的に発信している	3.1	B	30 31.6%	50 52.6%	12 12.6%	3 3.2%	80	84.2%
3	B生徒指導・支援の充実	挨拶、マナー、基本的生活習慣の指導を徹底している	3.2	A	35 36.8%	48 50.5%	8 8.4%	4 4.2%	83	87.4%
4	B生徒指導・支援の充実	服装容儀（制服や身なり）の指導を適切に行っている	3.0	B	30 31.6%	42 44.2%	17 17.9%	6 6.3%	72	75.8%
5	B生徒指導・支援の充実	遅刻・欠席・欠課などの動怠指導を適切に行っている	3.2	A	34 35.8%	46 48.4%	11 11.6%	4 4.2%	80	84.2%
6	B生徒指導・支援の充実	校則や社会のルールについて、生徒・保護者に十分に説明している	3.3	A	41 43.2%	43 45.3%	7 7.4%	4 4.2%	84	88.4%
7	B生徒指導・支援の充実	交通安全（自転車マナー等）に関する指導を行っている	3.3	A	41 43.2%	43 45.3%	6 6.3%	5 5.3%	84	88.4%
8	B生徒指導・支援の充実	人権教育を推進し、生徒の人権を尊重している	3.4	A	51 53.7%	38 40.0%	1 1.1%	5 5.3%	89	93.7%
9	B生徒指導・支援の充実	いじめ防止基本方針に基づき、未然防止や早期対応に努めている	3.4	A	48 50.5%	42 44.2%	1 1.1%	4 4.2%	90	94.7%
10	B生徒指導・支援の充実	安全指導・管理（施設設備や実習時等）を徹底している	3.5	A	55 57.9%	36 37.9%	1 1.1%	3 3.2%	91	95.8%
11	B生徒指導・支援の充実	生徒の健康面やメンタルヘルスに関する相談に適切に応じている	3.3	A	46 48.4%	41 43.2%	3 3.2%	5 5.3%	87	91.6%
12	E学校の活性化	校内の環境美化・整備に努めている	3.5	A	54 56.8%	38 40.0%	1 1.1%	2 2.1%	92	96.8%
13	B生徒指導・支援の充実	緊急時や感染症への対策、避難経路の周知が適切である	3.4	A	44 46.3%	44 46.3%	5 5.3%	2 2.1%	88	92.6%
14	D授業力の向上	主体的・対話的で深い学び（生徒同士の学び）を推進している	3.3	A	42 44.2%	42 44.2%	6 6.3%	5 5.3%	84	88.4%
15	D授業力の向上	言語活動の充実を図り、やる気を起こさせる授業をしている	3.2	A	32 33.7%	51 53.7%	7 7.4%	5 5.3%	83	87.4%
16	D授業力の向上	基礎・基本的な学力の定着（学びの基礎診断の活用等）を図る	3.2	A	36 37.9%	48 50.5%	7 7.4%	4 4.2%	84	88.4%
17	D授業力の向上	ICT機器や学習用端末（一人一台端末）を効果的に活用している	3.1	B	34 35.8%	43 45.3%	12 12.6%	6 6.3%	77	81.1%
18	D授業力の向上	ものづくりや課題研究などの体験的な学習を取り入れ、授業を工夫している	3.3	A	49 51.6%	33 34.7%	9 9.5%	4 4.2%	82	86.3%
19	D授業力の向上	観点別評価に基づき、生徒の学習評価を適切に行っている	3.3	A	41 43.2%	45 47.4%	3 3.2%	6 6.3%	86	90.5%
20	A希望進路の実現	学科の特色を活かした教育や進路に応じた課程を編成している	3.3	A	40 42.1%	46 48.4%	4 4.2%	5 5.3%	86	90.5%
21	A希望進路の実現	3年間の組織的・系統的な指導（キャリアパスポート等）を行っている	3.2	A	35 36.8%	47 49.5%	7 7.4%	6 6.3%	82	86.3%
22	A希望進路の実現	生徒や保護者の進路相談、職場開拓、進学指導が充実している	3.3	A	41 43.2%	46 48.4%	3 3.2%	5 5.3%	87	91.6%
23	C文武両道による学力向上	資格取得の奨励や検定試験、コンテスト等の指導が充実している	3.4	A	55 57.9%	27 28.4%	8 8.4%	5 5.3%	82	86.3%
24	C文武両道による学力向上	読書活動の推進や、図書館活動の充実に取り組んでいる	3.3	A	49 51.6%	30 31.6%	10 10.5%	6 6.3%	79	83.2%
25	E学校の活性化	学校行事（沖工祭・研修旅行等）を充実させている	3.5	A	55 57.9%	34 35.8%	4 4.2%	2 2.1%	89	93.7%
26	E学校の活性化	生徒会活動の活性化など、生徒の主体性・自主性を伸ばす指導をしている	3.2	A	35 36.8%	49 51.6%	6 6.3%	5 5.3%	84	88.4%
27	C文武両道による学力向上	部活動の推奨や部活動における望ましい指導体制を確立している	3.1	B	32 33.7%	49 51.6%	9 9.5%	5 5.3%	81	85.3%
28	F開かれた学校づくり	地域の企業や産業界、外部人材と連携した学習を行っている	3.2	A	39 41.1%	45 47.4%	6 6.3%	5 5.3%	84	88.4%
29	E学校の活性化	HPや新聞等で、生徒の活躍や学校の様子を積極的に発信している	3.1	B	39 41.1%	38 40.0%	10 10.5%	8 8.4%	77	81.1%
30	F開かれた学校づくり	保護者や地域、同窓会等の意見を聞き、教育活動に反映させている	3.0	B	19 20.0%	62 65.3%	8 8.4%	6 6.3%	81	85.3%
31	G働き方改革（3軸6視点）	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています	3.4	A	47 49.5%	40 42.1%	6 6.3%	2 2.1%	87	91.6%
32	G働き方改革（3軸6視点）	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています	2.7	B	18 18.9%	42 44.2%	28 29.5%	7 7.4%	60	63.2%
33	G働き方改革（3軸6視点）	一人ひとりの児童生徒との信頼関係を深めることができています	3.1	B	23 24.2%	62 65.3%	5 5.3%	5 5.3%	85	89.5%
34	G働き方改革（3軸6視点）	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している	3.0	B	22 23.2%	56 58.9%	12 12.6%	5 5.3%	78	82.1%
35	G働き方改革（3軸6視点）	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	3.1	B	27 28.4%	54 56.8%	12 12.6%	2 2.1%	81	85.3%

95名の職員から回答を得た(回答率94%)。専門高校としての高度な教育実践に確かな手応えを感じている一方で、校務運営の多忙感という課題も浮き彫りとなった。施設の安全指導や校内の環境美化、学校行事への高い自省評価に加え、教育の核である進路指導（R6：1.4A、R7：3.2~3.3A）や資格取得（R6：1.3A、R7：3.4A）は一貫して高い水準を維持しており、本校の強みとして機能している。一方で、自己評価は三者の中で最も厳しく、特に「服装容儀（身なり）指導」（3.0 B）や「ICT活用」（3.1 B）はB評価に留まっている。最大の課題は働き方改革に関連する「時間の確保」で、R6年度（2.1B）からR7年度（2.7B）にかけて、尺度変更後も依然として全項目中最低の評価である。教材研究や生徒一人ひとりと向き合う時間を確保するための「業務の精選」は、教育の質をさらに向上させるための急務であると考えられる。